

女性工芸士、初の独立



曲げわっぱ業界で初めて、女性として独立開業を実現した仲澤さん

仲澤 恵梨さん

「身近で楽しめる工房に」 実家の二井田で開業

大館曲げわっぱの伝統工芸士・仲澤恵梨さん(39)が、大館市二井田に曲げわっぱの工房を新たに立ち上げた。大館曲げわっぱ協同組合によると、女性の伝統工芸士は現在2人で、独立するのは初めて。今後従業員を増やして後継者育成にも力を注ぐ考えで、「お客さんに寄り添い、楽しめる、身近な工房にしたい」と話している。

仲澤さんは二井田自身で、大館高校を卒業後、秋田職業能力開発短期大学校で建築技術などを専攻。幼い頃から

のづくりに関心があり、短大人に寄り添って、人材を育てていきたい」との思いを強くし、「いつも身近にあった曲げわっぱを自分で作ってみたい」と考えるようになった。20歳で柴田慶信商店の門をたたき、職人としての腕を磨いてきた。入社13年目の2016年には伝統工芸士に認定された。独立は入社当時から思い描いていたことで、厳しい職人の世界では若い人が辞めていく姿も見えてきただけに「若いプの開催も想定している。

独立は入社当時から思い描いていたことで、厳しい職人の世界では若い人が辞めていく姿も見えてきただけに「若いプの開催も想定している。

独立は入社当時から思い描いていたことで、厳しい職人の世界では若い人が辞めていく姿も見えてきただけに「若いプの開催も想定している。

「お客さんが楽しめ、身近に感じられる場所にしたい」との考えから、作業室との間の壁はガラス張りにし、訪問客からも作業の様子が見えるようにこだわった。屋号は「曲げわっぱ工房 E08(イーわっぱ)」。自身の名前のイニシャルと、良い製品を作りたいという思いをかけた。樺とじの市松模様や、木の年輪をイメージしたロゴも考案。今月1日付で開業届を出し、7日付で大館曲げわっぱ協同組合への加盟も承認された。長年指導を



実家車庫を改装して整備した「曲げわっぱ工房 E08」(大館市二井田)

「女性の目線でお客さんの気持ちに寄り添い、『こんな曲げわっぱを作ってほしい』などの要望に応えていきたい。これまでは自分のアイデアを形にするのは難しかったが、これからは既存の製品にとらわれず、自分や若い人たちが作ったものを世に出していきたい」と決意を固めている。